



平成23年7月29日

各位

上場会社名 NSユナイテッド海運株式会社
 代表者 代表取締役社長 小島 徹
 (コード番号 9110)
 問合せ先責任者 企画グループリーダー 小山田 充宏
 (TEL 03-6895-6291)

業績予想ならびに配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年4月28日に公表した業績予想ならびに配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	67,000	600	200	400	1.73
今回修正予想(B)	63,000	600	△300	100	0.43
増減額(B-A)	△4,000	0	△500	△300	
増減率(%)	△6.0	0.0	—	△75.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	58,993	4,235	3,388	2,274	14.05

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	138,000	3,900	3,200	2,500	10.84
今回修正予想(B)	—	—	—	—	—
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	127,184	7,394	5,873	3,236	16.48

修正の理由

第2四半期連結会計期間につきましては、新興国を中心とした輸送需要は今後も堅調に推移し、また足元の低市況を受けて老齢船の解撤が進むなど船腹需給の改善が期待されるものの、新造船の大量竣工による船腹過剰感を払拭するには至らず、市況低迷が引き続き強く懸念されます。さらに為替の円高基調や燃料油価格の高止まり等、事業環境は今後も厳しい状況が続くものと見られます。

このような事業環境見通しを踏まえ、第1四半期連結累計期間の業績も織り込んで、本年4月28日付けで公表した平成24年3月期第2四半期連結累計期間および平成24年3月期通期の連結業績予想を前述の通り修正いたします。なお第2四半期の前提条件につきましては、対ドル円換算率を80円(期初前提比5円高)、燃料油価格を内地C重油価格トン当たり690ドル(期初前提比90ドル高)へと見直しています。

今年3月発生 of 東日本大震災に伴う混乱が解消されていないなか、足元では為替レートは急激な円高傾向を示しており、また現下の不安定な国際政治・経済動向と相俟って原油市場や海運市況の変動性も大きく、外航海運業にとって今後の事業環境の見通しは非常に不透明な状況にあります。そのため通期の連結業績予想につきましては未定といたしますが、合理的な算定が可能となった時点で改めて皆様にお知らせいたします。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成23年4月28日発表)	—	0.00	—	2.00	2.00
今回修正予想	—	0.00	—	—	—
当期実績	—	—	—	—	—
前期実績 (平成23年3月期)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注1)上記の配当予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の配当額は今後の様々な要因によって予想数値とは異なる場合があります。

(注2)当社は定款において第2四半期末および期末日を配当基準日と定めています。

修正の理由

当社では年間配当の配当性向を「連結業績ベースの概ね20%」としており、また中間配当額につきましては上期業績の推移ならびに下期業績見込の見直し等を考慮して判断することとしています。

しかしながら前頁「業績予想の修正について」にて説明の通り、今後の事業環境の見通しが非常に不透明であることから、通期連結業績予想数値の公表を見送らざるを得ない状況にあります。そのため第2四半期末につきましては前回予想と同じく無配のままとするともに、期末配当につきましては未定といたします。

以 上